

2026 年 9 月 8 日  
マクセル株式会社

## マクセルグループ、カーボンニュートラル実現への取り組みを加速 マクセルフロンティア宮城事業所にて「自家消費型太陽光発電」を本格稼働 年間約 82 トンの CO<sub>2</sub> 削減と、工場使用電力の一部をクリーンエネルギーへ転換

マクセル株式会社(以下、マクセル)のグループ会社であるマクセルフロンティア株式会社(以下、マクセルフロンティア)は、環境経営およびサステナビリティ活動の強化を目的に、宮城事業所(宮城県亘理郡亘理町)の屋上に PPA(電力販売契約)モデルによる自家消費型太陽光発電設備を設置し、9 月より本格稼働を開始します。

マクセルグループでは、「2050 年度カーボンニュートラル達成」を掲げ、環境活動目標に基づいた CO<sub>2</sub> 排出量削減と再生可能エネルギーの導入を推進しています。昨今のエネルギー価格高騰への対応に加え、持続可能なモノづくり体制の構築が喫緊の課題となるなか、マクセルフロンティア宮城事業所においても、グループのマテリアリティ KPI 達成に向けた具体的な施策として、初期投資を抑えつつ迅速に導入可能な PPA モデルによる太陽光発電の採用を決定しました。本導入により、グループ内での PPA 導入は 4 カ所目となります。

今回、宮城事業所の屋上を活用し、ソーラーパネルを設置しました。発電した電力をそのまま同事業所内で消費する「自家消費型」を採用しており、年間使用電力の一部を賄う計画です。また、導入により年間で約 82 トンの CO<sub>2</sub> 排出量削減を見込んでいます。これはマクセルグループ全体の CO<sub>2</sub> 排出量削減目標達成に向けた重要な一歩となります。

### ■太陽光発電設備の概要

設置場所: マクセルフロンティア株式会社 宮城事業所

設置面積: 1,230m<sup>2</sup>

年間想定発電量: 193,278kWh(初年度)

CO<sub>2</sub> 排出量削減量: 年間約 82 トン

マクセルグループは、今後も国内外の生産拠点において再生可能エネルギーの導入を順次拡大し、サプライチェーンを通じた脱炭素社会の実現に貢献していきます。そして、すべてのステークホルダーの皆さまに「最高の価値(Maximum Excellence)」を提供し続け、「未来の中に、いつもいる」企業であるために、サステナブルな経営を推進します。

### ■マクセルのサステナビリティの取り組みについて

<https://www.maxell.co.jp/sustainability/>

### ■商標

記載されている名称、ロゴ、サービスマークは、マクセルまたは他社の登録商標もしくは商標です。

### ■お問い合わせ先

マクセル株式会社 コーポレート・コミュニケーション本部

<https://maxell.tayori.com/f/tayori-01/>

以上

---

ニュースリリース、お知らせに記載の情報（製品価格、製品仕様、サービスの内容、  
発売日、お問い合わせ先、URL 等）は、発表日時点のものです。

予告なしに変更され、発表日と情報が異なる場合もありますので、あらかじめ  
ご了承ください。

---